

あかね。いや、あかねさん。あかね。

呼び名はさておき、ラブレターというものを書いてみました。正確に言うと、書いています。「何で手紙？用があるならLINEで言えばいいじゃない」あきれたように言う顔が浮かびます。確かに。LINEで言った方が手取り早いでしょう。でも、LINEだと早すぎて。LINEだと軽すぎて。そして、LINEだと流れていくから。紙にしました。残るように。

ついこの間、入学をしたと思ったけど、もう卒業だね。あかねとは、入学式当日の夜、勧誘されたサークルの花見で会ったのが最初かな。前日に雨が降ったせいで、桜が散ってしまっていたことを今でも鮮明に覚えています。「桜って散ってもきれいだよね」とあかねが言っていたことも鮮明に覚えています。「は？どこが？」と僕が言い返したことも覚えています。「は？」あかねがすごい剣幕で僕をにらんできたことも覚えています。要は、全部覚えています。

就職が決まり、卒業が決まり、卒業旅行も行き、スーツも買い、全部終わりました。あかねに「好きだ」と伝える以外は。そして、それもこの手紙を書くことによって終わります。いま、悩んでいることがあります。この手紙をどうやって渡せばいいのだろうか。郵送？直接手渡し？誰かに頼んで渡してもらおう？バッグにそっと忍ばせる？下駄箱に入れる？まあ、それは後で考えることにします。まずはこの手紙を最後まで書きます。

あかねはこの手紙を読みながら、さぞかし驚いていることでしょう。まさか、僕があかねのことを好きだとは思ってないだろうから。僕も驚いています。まさか、僕があかねのことを好きになるなんて。

この手紙を書くにあたって、色々なサイトで研究をしました。どういう風にかけばいいのか。「好きなところを具体的に書くこと」あるサイトに書いていました。なるほど、と思い、具体的に書こうと思うのですが、書けません。具体的にあかねの好きなところを書けるほど、冷静じゃないから。相手の好きなところを具体的に書け、っていうのは、全力で走っている最中の短距離選手に、「今、何を意識しながら走ってる？」と聞くようなものだと思います。無理です。無我夢中だから。

長く書くとぼろが出そうなので、そろそろ終わりにします。とにかく、今まで以上に一緒にいたい。散る桜でも満開の桜でもどっちでもよいです。一緒に桜を見ましょう。散る桜、咲く桜、散る桜、咲く桜。何回も何回も一緒に見よう。

返事待ってます。手紙は大変なので、LINEでよいです。